

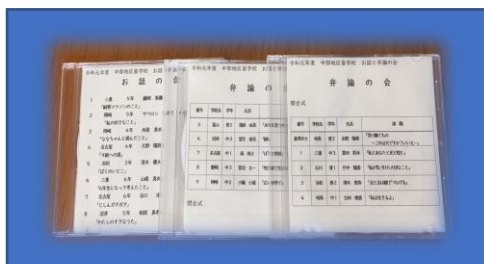
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で授業の開始が遅れ、多くの学校行事が中止や延期のなか、また、第3波の兆しが心配されるなか、無事に文化祭当日を迎えることができました。

文化祭の内容は、規模を縮小しました舞台発表、コーナー企画、作品展示のほかに、PTA企画の「ゲーム屋さん」(写真1、2)と校長企画の「中部地区盲学校『お話と弁論の会』の音声紹介」(写真3)で花を添えました。



(写真1、2) PTA企画「ゲーム屋さん」

「はい、私が本物です。」(by 校長)



(写真3) 校長企画「中部地区盲学校『お話と弁論の会』の音声紹介」

また、メイン会場となる体育館において、文化祭実行委員会の皆さんがロープにちょうちんを付け、飾り付けをするなど、盛り上げようとする気持ちが伝わってきました(写真4)。



(写真4) 装飾

もちろん、コロナ対策として、換気の徹底、三密回避（写真5）、マスク着用、来場制限、分散して参加するための事前アンケートによる調整など一つ一つ丁寧に対応し実施しました。関係の皆様方に感謝です。



（写真5）三密回避の会場

コーナー企画では、短い期間でしたが、準備から当時まで、コロナ対策を念頭に創意工夫のある内容であり、当日もソーシャルディスタンスを意識し取り組まれておりました。また、幼児児童生徒の皆さんは、日ごろから新しい生活様式のなかで準備や練習に励み、当日の舞台発表では、全身で表現し、自分の役割を確実にこなすといった、日々の学習の成果をしっかりと発表することができたと思います。

最後に、今回は家族全員が参観できたわけではありませんので、参観された方から、内容を伝えていただくことと頑張りを褒めていただくことをお願いし、幕を閉じました。例年のような出会いや賑わいはありませんでしたが、名古屋盲学校だからこそできた、思い出に残る文化祭となりました。